



第80期中間報告書

# 株主通信

平成19年4月1日～平成19年9月30日



株式会社 指月電機製作所

<http://www.shizuki.co.jp/>

証券コード 6994

東証二部・大証二部

## 夢と存在感のある企業をめざして――。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

シヅキは1939年の創業以来、フィルムコンデンサ開発、製造で培われた技術力を活かし、社会のニーズに合わせて、あらゆる用途の製品をただ実直に開発してきました。

そして、私たちはいま、単にフィルムコンデンサを製造するという役割から、電気エネルギーをマネジメントする企業として、地球環境、情報化社会が抱える課題に応え、社会に貢献する存在感ある企業をめざし、邁進していく所存です。

これからも、シヅキをよろしくお願い申し上げます。

2007年12月 代表執行役社長 梶川 泰彦



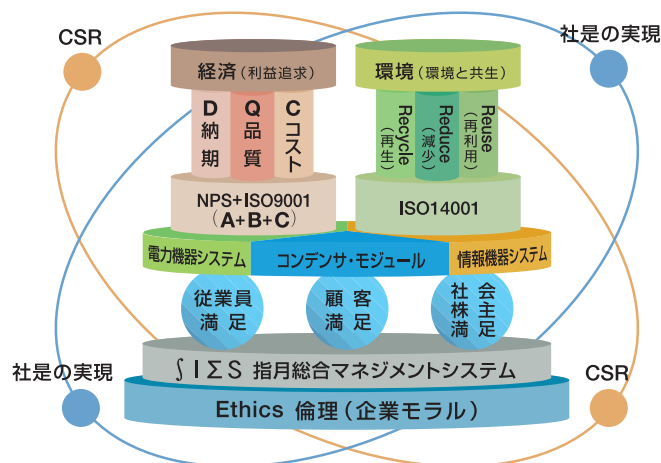
### 社 是

我々は人間性を尊重し  
環境を大切に作る無駄のない物づくりにより  
お客様に満足を提供し  
社業の発展を通して社会に貢献します

### 考 働 指 針

1. 仕事とは約束であり  
職場は約束を果たす場である
2. いかによれば可能かを語り  
なぜ不可能かを語る必要はない
3. 知恵を使え 気を使え 手を使え

### 指月グループの経営概念



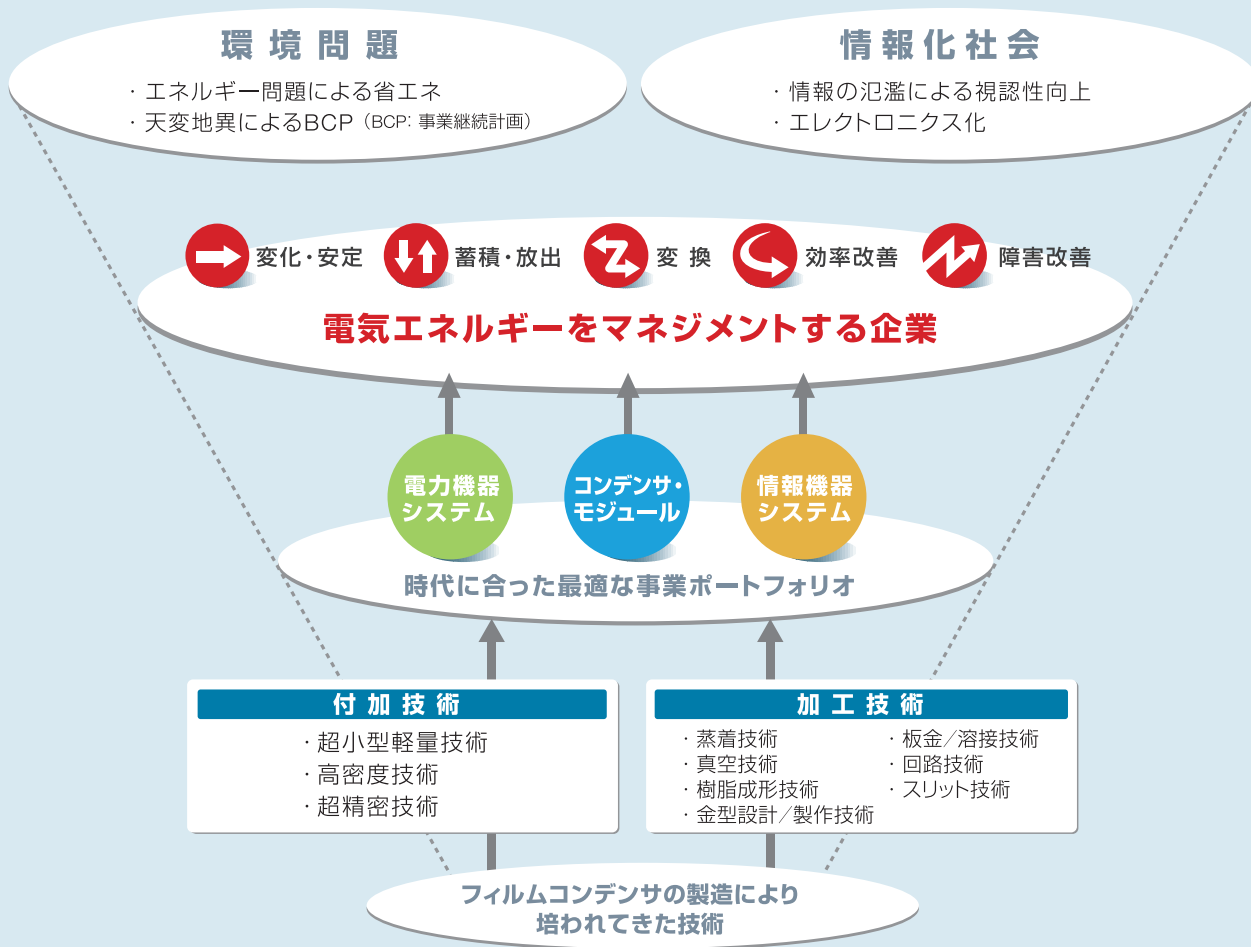
∫IIS<指月総合マネジメントシステム>とEthics<倫理(企業モラル)>を基盤として  
社是の実現と社会的責任を果たし、永続的成長を实践。

NPS: New Production System A+B+C: A(開発、営業など)+B(生産)+C(物流、サービスなど)

## 蓄える技術と、放つ技術と――。

シツキは、フィルムコンデンサのリーディングカンパニーとして技術を蓄積し、常に時代のニーズに適合した技術を放ってきました。

そして、電気エネルギーマネジメント企業として、社会に貢献してまいります。



## 電気エネルギーマネジメント企業として飛躍するシヅキグループ 中長期経営計画 AIM2010。

当社は、2005年度に掲げた中長期経営計画『AIM2010』を皮切りに、着実に計画を達成してまいりました。そして、2010年度の売上220億円達成を目指して、電気エネルギーマネジメントの新たなニーズの発掘と、それにとまなう新製品の開発を進めてまいります。

### 電気エネルギーマネジメント



## AIM 2010 — シヅキが目指す2010年度のあるべき姿 —

2010年 全売上高

220億円

(2007年度見込み 200億円)

2010年 営業利益

22億円

(2007年度見込み 18.2億円)

2010年 総資産経常利益率 (ROA)

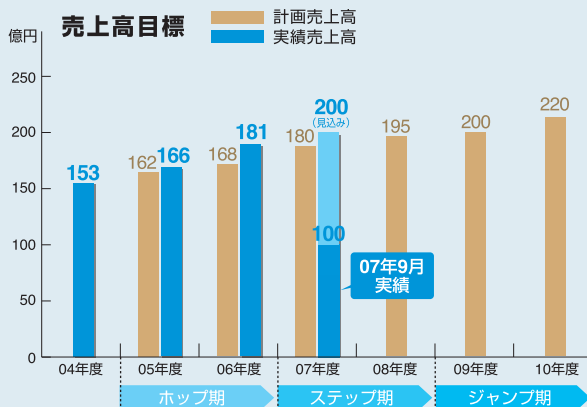
12%

(2007年度見込み 10.0%)

2010年 一株当たり利益 (EPS)

40.0円

(2007年度見込み 29.4円)



### 経営指標

項目	単位	ホップ期		ステップ期		ジャンプ期	
		05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度
営業利益	億円	13.7	16.7	18.2	18.5	19.4	22.0
総資産経常利益率 (ROA)	%	8.1	9.5	10.0	10.0	11.0	12.0
一株当たり利益 (EPS)	円	27.1	26.0	29.4	30.0	35.0	40.0
		実績		見込み		計画	



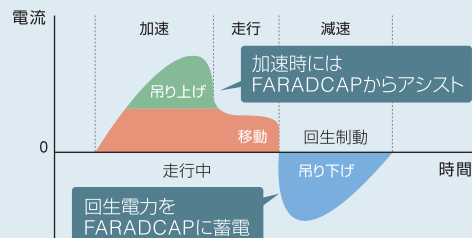
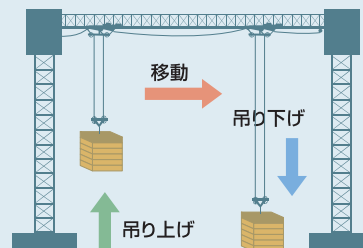
## 蓄える・放出させる 三井造船殿向けコンテナクレーン用 FARADCAP

### "ハイブリッド型コンテナ用ヤードクレーン"へ搭載の電気二重層コンデンサ (商品名: FARADCAP) の受注



FARADCAP

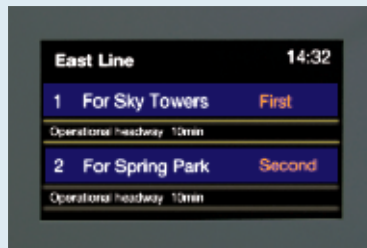
コンテナ用ヤードクレーンとは、ディーゼルエンジンで発電した電力でコンテナの積み降ろしを行うものです。このヤードクレーンは、吊り上げたコンテナを降ろす際に発生する電気エネルギー（回生エネルギー）を電気二重層コンデンサに蓄電し、吊り上げ時にはディーゼルエンジンで発電した電力と併用することでエネルギーの再利用を可能にし、環境にやさしく、省エネルギーな設計を実現しました。このように当社製電気二重層コンデンサ「FARADCAP」は、電気エネルギーを利用する様々なシーンで活躍し、電気の変化・安定させる市場での地位を確立してまいります。



## 変換させる 海外向け鉄道用表示装置

### 海外向け鉄道用発車表示器を初受注

世界的に社会インフラの整備が進む中、海外向けの鉄道用発車表示器を初受注いたしました。当社が長年培った国内向け表示器での実績と品質、そして、使用環境を考慮した設計や多言語対応ソフトなどの開発力が高く評価されたものです。今後も引き続き、高い技術力を活かし受注拡大を図ってまいります。

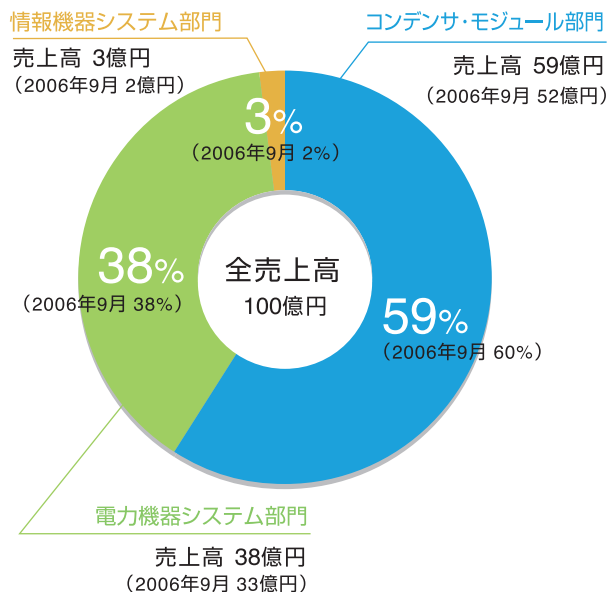


英語、韓国語、中国語、アラビア語の文字表示に対応。AVプレーヤーの動画表示（自動再生）も可能。

## 事業概要と展望

「コンデンサ・モジュール」が好調に推移したことに加え、設備投資拡大、操業度向上の要求が高まり、省エネや安定操業に寄与する「電力機器システム」も大幅に伸ばいたしました。海外取引におきましては、中国（上海）の販売子会社や、本年4月に操業を開始したタイ（バンコク）の生産子会社設立の効果により、中国及び東南アジアを中心として売上げが伸ばいたしました。

### 部門別売上高比率（2007年9月）



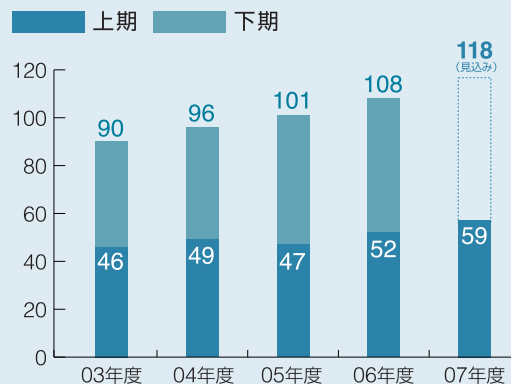
## コンデンサ・モジュール部門



国内販売は自動車、大型産業機器が計画を上回る販売となりました。

自動車用車載インバータ及びノイズ発生機器の増加に伴い需要拡大、適応した商品を提供できました。また、世界的な社会インフラの整備と、鉄鋼の需要拡大により、海外向け電鉄、鉄鋼用ドライブ機器の売上げが増加しました。

### コンデンサ・モジュール部門売上高（単位:億円）

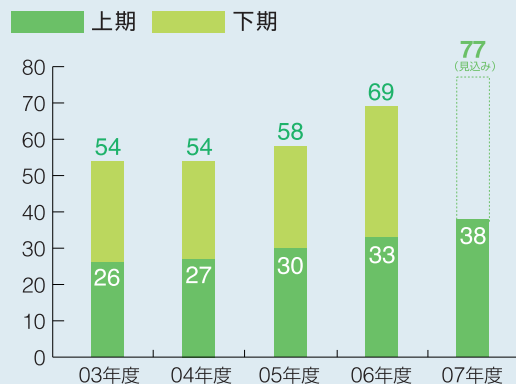


## 電力機器システム部門



生産設備投資の拡大とシェアアップにより、「力率改善装置」「電力品質改善装置」が伸長いたしました。また、雷などによる瞬時の電圧低下および停電対策の必要性、電気二重層コンデンサ方式の特長を認識頂き、瞬時電圧低下補償装置の引合い件数が増加しました。更に機能アップを図り、お客様のニーズに応じてまいります。

## 電力機器システム部門売上高（単位：億円）

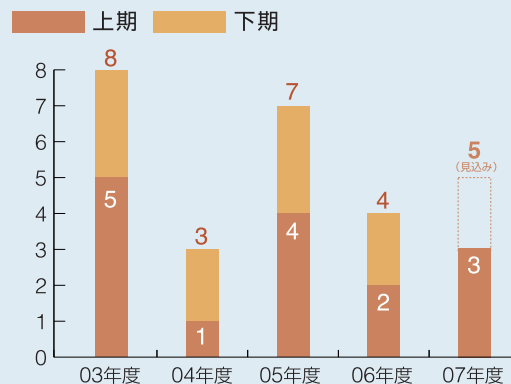


## 情報機器システム部門



海外向け表示装置の受注をはじめ、主要空港の既設品リニューアルや、鉄道用発車標を中心に受注が拡大しました。また、バスに搭載する運賃表示器、音声合成装置、行先表示器のリピー特受注がありました。引き続き、新商品開発、ならびに既設品リニューアル対応も継続し、更に拡大を図ってまいります。

## 情報機器システム部門売上高（単位：億円）



# コンデンサって何だろう？ ～フィルムコンデンサ～

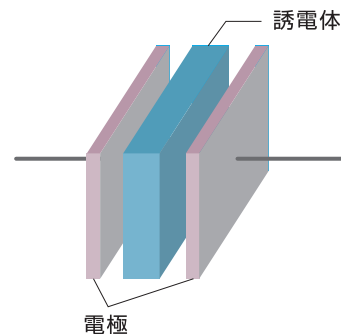
なるほど  
シツキの  
技術力！

## コンデンサとは？

コンデンサの基本構造は、誘電体(絶縁体)を2枚の電極で挟んだもので、

- ① 電気を蓄える機能、
- ② 直流電流をさえぎり、交流電流を通す、 という基本機能により、
  - ▶ 交流を直流にする(ダイオードとの組合せ)
  - ▶ 蓄電機能を利用したタイマ回路
  - ▶ 周波数を整え欲しい信号のみを取り込む(高周波・低周波)

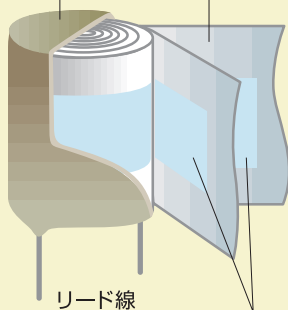
という働きを持たせることができます。電力の電流と電圧の関係を調整する事で、電気を効果的・効率的に使う事ができ、電気を使うあらゆる用途でなくてはならない部品になっています。



<コンデンサの基本構造図>

外装樹脂

誘電体(フィルム)



<コンデンサの構造例>

## フィルムコンデンサとは？

シツキがもっとも得意とするフィルムコンデンサは、厚さ数 $\mu\text{m}$ のフィルムを誘電体とし電極と一緒に巻いた(または積層した)ものです。

他のコンデンサに比べて高い絶縁性と低損失、周波数や温度に対する容量の安定性で特に優れており、極性を持たないという使い勝手の良さ、また蒸着膜の自己回復作用による高い信頼性とあいまって、家電製品から車載電子機器、そして新幹線から原子力発電所まで幅広く使用されています。

シツキは、1939年の創業以来、一貫して紙～フィルムコンデンサの開発・製造を行っており、シツキの歴史はフィルムコンデンサの歴史と言えます。

電気・電子機器そして電力におけるフィルムコンデンサの重要性に少しでも興味を持っていただければ幸いです。

シツキのフィルムコンデンサは  
様々な所で活躍しています



自動車



バイク



家電製品



工場



新幹線



潜水艦



原子力  
発電所



ビル



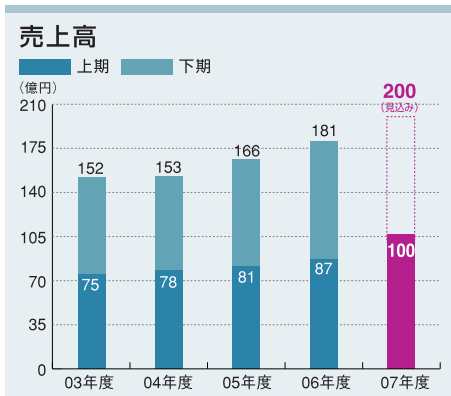
病院



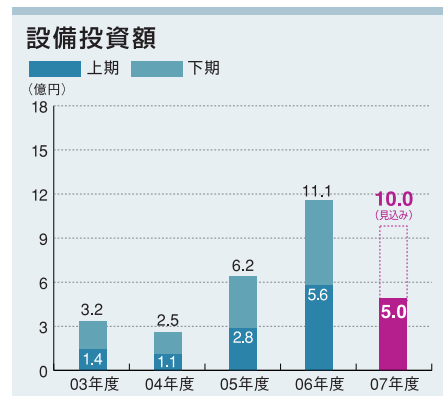
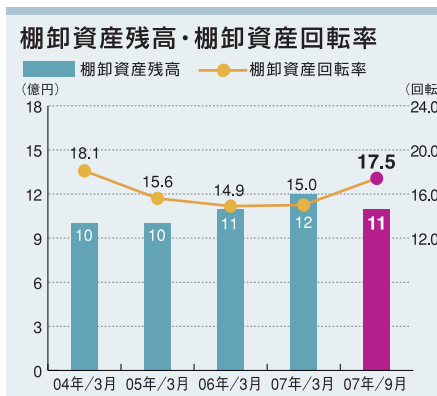
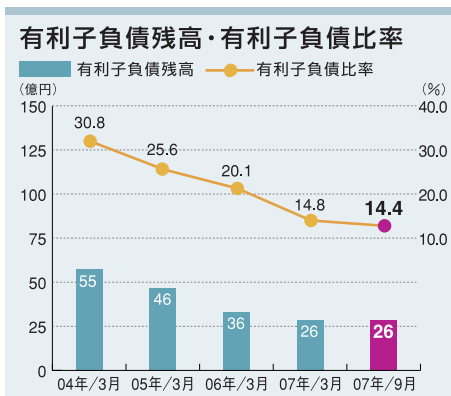
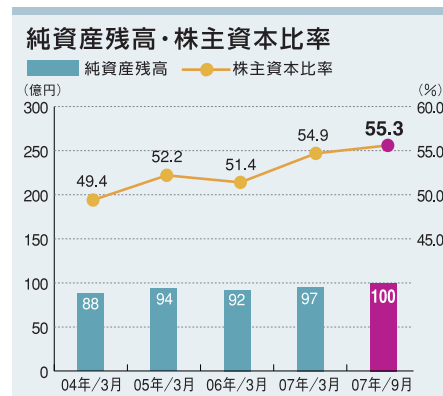
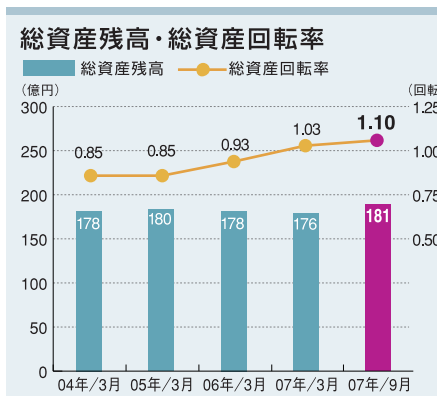
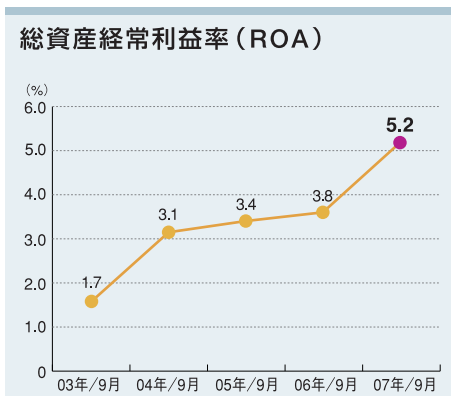
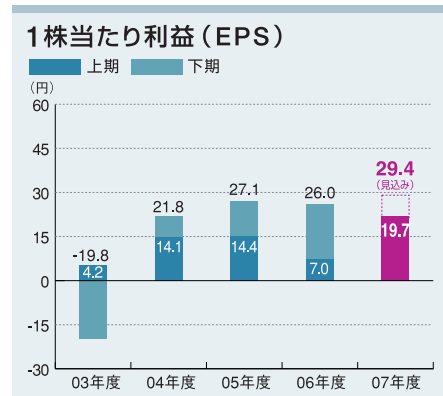
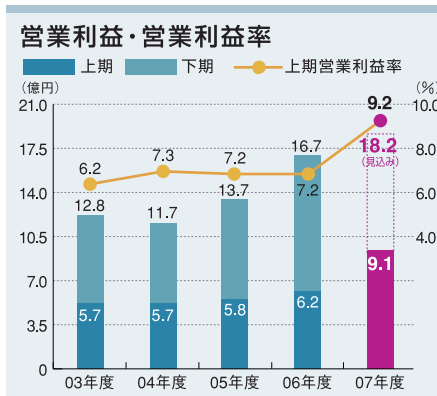
学校



## 財務ハイライト(連結)



03年度の売上高からオーディオ部門を除外しております。



(注)十万円の位を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第79期中間 平成18年9月30日現在	第80期中間 平成19年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,310	8,115
現金及び預金	2,401	2,544
受取手形・売掛金	3,254	4,016
棚卸資産	1,060	1,138
その他資産	593	416
貸倒引当金	△0	△0
固定資産	9,792	10,002
有形固定資産	8,271	8,536
建物及び構築物	2,042	2,252
機械装置及び運搬具	1,177	1,255
土地	4,530	4,425
建設仮勘定	387	392
その他	134	209
無形固定資産	76	94
投資その他の資産	1,443	1,371
投資有価証券	988	813
長期貸付金	48	47
その他	458	562
貸倒引当金	△52	△52
資産合計	17,102	18,118

(単位:百万円)

科目	第79期中間 平成18年9月30日現在	第80期中間 平成19年9月30日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,146	3,993
買掛金	631	905
短期借入金	2,700	1,063
未払費用	682	838
未払法人税等	347	402
引当金	370	429
その他	414	354
固定負債	2,874	4,076
長期借入金	400	1,600
退職給付引当金	1,076	1,039
その他	1,398	1,436
負債合計	8,020	8,069
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,659	9,596
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,293	3,295
利益剰余金	1,361	2,294
自己株式	△996	△994
評価・換算差額等	421	417
その他有価証券評価差額金	298	271
土地再評価差額金	834	834
為替換算調整勘定	△711	△687
少数株主持分	—	34
純資産合計	9,081	10,048
負債純資産合計	17,102	18,118

(注) 十万円の位を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	第79期中間	第80期中間
	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	8,706	9,969
売上原価	6,340	7,045
売上総利益	2,366	2,924
販売費及び一般管理費	1,741	2,011
営業利益	624	912
営業外収益	99	108
営業外費用	82	86
経常利益	641	935
特別利益	123	—
特別損失	321	—
税金等調整前中間純利益	442	935
法人税、住民税及び事業税	325	390
法人税等調整額	△90	△44
少数株主損失	—	0
中間純利益	208	590

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	第79期中間	第80期中間
	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	583	768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△516	△540
財務活動によるキャッシュ・フロー	△589	△74
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	1
現金及び現金同等物の増減額	△507	154
現金及び現金同等物の期首残高	2,909	2,390
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,401	2,544

## 連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成19年3月31日残高	5,001	3,293	1,808	△1,003	9,099	545	34	9,680
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△104		△104			△104
中間純利益			590		590			590
自己株式の取得				△5	△5			△5
自己株式の処分		2		14	16			16
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△127	△0	△128
中間連結会計期間中の変動額合計	—	2	485	8	497	△127	△0	368
平成19年9月30日残高	5,001	3,295	2,294	△994	9,596	417	34	10,048

(注)十万円の位を切り捨てて表示しております。

## 個別貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第79期中間 平成18年9月30日現在	第80期中間 平成19年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	6,460	7,246
現金及び預金	1,759	1,933
受取手形・売掛金	3,011	3,717
棚卸資産	405	402
その他資産	1,284	1,193
貸倒引当金	△0	△0
固定資産	9,647	9,188
有形固定資産	5,860	5,642
建物及び構築物	1,190	1,146
機械装置及び運搬具	300	236
土地	4,270	4,164
建設仮勘定	65	5
その他	33	90
無形固定資産	72	55
投資その他の資産	3,714	3,491
投資有価証券	987	812
長期貸付金	2,130	1,832
その他	1,325	1,449
貸倒引当金	△728	△603
資産合計	16,107	16,435

(単位:百万円)

科目	第79期中間 平成18年9月30日現在	第80期中間 平成19年9月30日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,816	3,354
買掛金	1,112	1,247
短期借入金	2,700	1,000
未払費用	417	471
未払法人税等	303	357
引当金	149	190
その他	133	87
固定負債	2,046	3,265
長期借入金	400	1,600
退職給付引当金	247	228
その他	1,398	1,436
負債合計	6,862	6,619
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,112	8,710
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,293	3,295
利益剰余金	814	1,407
自己株式	△996	△994
評価・換算差額等	1,132	1,105
その他有価証券評価差額金	298	271
土地再評価差額金	834	834
純資産合計	9,244	9,816
負債純資産合計	16,107	16,435

(注) 十万円の位を切り捨てて表示しております。

## 個別損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

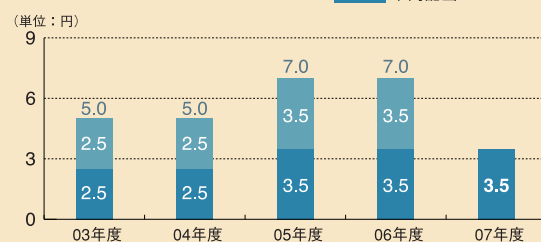
科目	第79期中間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	第80期中間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	7,944	8,831
売上原価	6,021	6,485
売上総利益	1,923	2,345
販売費及び一般管理費	1,382	1,560
営業利益	541	785
営業外収益	72	65
営業外費用	76	68
経常利益	536	781
特別利益	151	45
特別損失	5	—
税引前中間純利益	682	826
法人税、住民税及び事業税	281	345
法人税等調整額	15	△12
中間純利益	386	494

## 中間配当金 1株当たり3円50銭

当期の中間配当金は、1株当たり3円50銭とさせていただきます。

1. 中間配当金 1株当たり3円50銭
2. 支払対象者 平成19年9月30日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 平成19年12月11日

## 1株当たりの配当実績



## 個別株主資本等変動計算書

当中間会計期間(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成19年3月31日残高	5,001	3,293	1,018	△1,003	8,309	1,232	9,542
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△104		△104		△104
中間純利益			494		494		494
自己株式の取得				△5	△5		△5
自己株式の処分		2		14	16		16
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)						△127	△127
中間会計期間中の変動額合計	—	2	389	8	400	△127	273
平成19年9月30日残高	5,001	3,295	1,407	△994	8,710	1,105	9,816

2007年9月30日現在

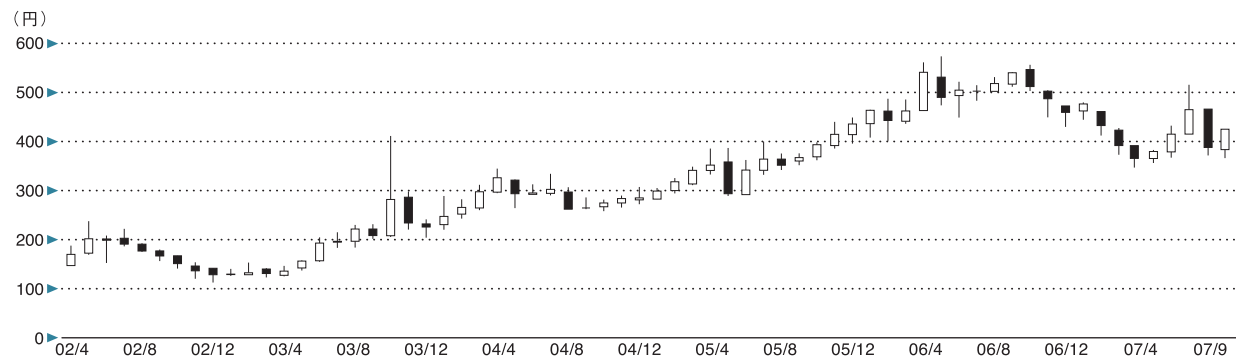
## 株式の状況

会社が発行する株式の総数	128,503,000株
発行済株式の総数	33,061,003株
当中間期末株主数	4,861名

## 大株主（上位10名）

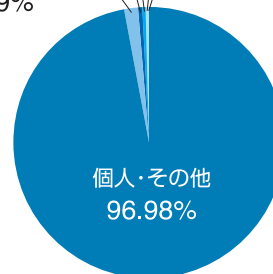
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱電機株式会社	6,981	21.1
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	1,813	5.5
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
株式会社みなと銀行	925	2.8
指月協友持株会	706	2.1
東京海上日動火災保険株式会社	565	1.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	432	1.3
日新火災海上保険株式会社	338	1.0
JPモルガンチェースバンク 380084	326	1.0
株式会社ノーリツ	322	1.0

## 株価チャート



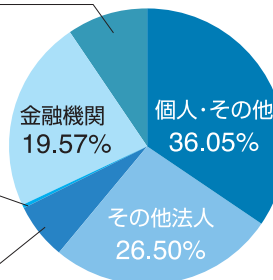
## 所有者別株主数分布状況

証券会社 0.41% 金融機関 0.30%  
 外国法人等 0.60% 自己名義株式 0.02%  
 その他法人 1.69%



## 所有者別株式数分布状況

自己名義株式 9.42%  
 証券会社 1.24%  
 外国法人等 7.22%  
 金融機関 19.57%  
 その他法人 26.50%  
 個人・その他 36.05%



2007年9月30日現在

## 会社概要

商号	株式会社指月電機製作所
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本店所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	http://www.shizuki.co.jp
創業年月日	昭和14年3月10日
設立年月日	昭和22年9月1日
資本金	5,001,745,595円
グループ従業員数	1,233名
主要取扱業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンデンサ及び関連機器・装置</li> <li>●電力機器・装置</li> <li>●情報機器・装置</li> </ul> の製造販売
営業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京支社</li> <li>●東京支店／関西支店／中部支店</li> <li>●札幌営業所／仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所</li> <li>●マレーシア連絡事務所／韓国連絡事務所</li> </ul>

## 役員

取締役		※社外取締役
取締役会長	梶川 泰彦	
取締役	木佐木 正文	
取締役	川本 十七生	
取締役	山下 正孝※	
取締役	池田 義範※	
取締役	増田 幹登※	

## 執行役

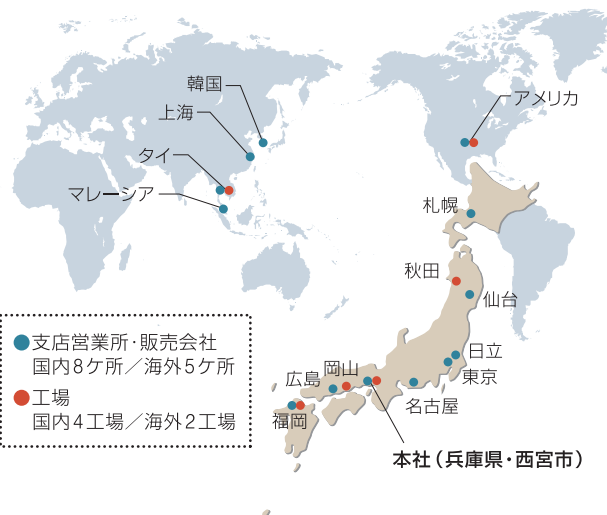
代表執行役社長	梶川 泰彦
常務執行役	木佐木 正文
常務執行役	志方 正一
常務執行役	足達 信章
常務執行役	浦屋 昌吾
執行役	谷口 義裕
執行役	伊藤 薫

## 生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社 (福岡県)	100,000千円	100.0
秋田指月株式会社 (秋田県)	100,000千円	100.0
岡山指月株式会社 (岡山県)	100,000千円	100.0

## 販売・生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0
タイ指月株式会社(タイ バンコク)	33,000千バーツ	70.0



# 株 主 メ モ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払確定日	毎年3月31日
中間配当金支払確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777 (通話料無料)
同 取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券 全国本支店 ○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話 およびインターネットで24時間承っております。 電話 (通話料無料) TEL:0120-244-479 (本店証券代行部) TEL:0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 <a href="http://www.shizuki.co.jp/">http://www.shizuki.co.jp/</a> ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部 大阪証券取引所 市場第2部

## 『指月(シヅキ)』社名の由来

「指月」の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



## 株式会社指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号  
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807